

校長室だより第 18 号（令和 7 年 8 月 6 日）

暑中お見舞い申し上げます。

夏休みも半分近くが終わろうとしています。皆さん、いかがお過ごしですか。

さて、夏休みに入ったために小倉小学校の子どもたちのことを記すことができないので、私自身が日々感じていることを書かせていただきます。

先日、新幹線に乗車する機会がありました。乗車するためには切符と特急券が必要です。昔ならば、「みどりの窓口」に事前に赴き、窓口で行先と日時を告げて切符と特急券を購入していました。しかし、今はスマートフォン一つで購入できるのです。便利なのですが、昭和の私には難しい。なんとか希望のチケットを購入できたのですが、『交通系 IC に紐づけなくてはならない』とスマートフォンの画面が指示を出しています。「紐づけってなんだ？」とぶつぶつ言いながら、数字や記号を打ち込み作業が終わりました。

これで安心。とはいきません。当日、交通系 IC を用いて無事にホームまでたどり着いたのですが、自分が何号車の何番の席に座ればいいのかを覚えていません。慌てて、スマートフォンでアプリを立ち上げ、席を確認しました。ここでも少々苦労をしました。予約をしたときにスクリーンショットしておけばいいのだと学びました。今度こそ無事に乗車することができました。みどりの窓口を利用した方が私には簡単な気がします。

私の話はここまでとします。

大変便利な世の中になり、改札で交通系 IC をかざせば電車やバスに乗車できますし、乗換案内を使えば、乗り換える駅、乗車する列車が表示されます。昔、東京でどの地下鉄に乗車すればいいのかで迷子になったことが懐かしいです。

では今の子どもたちは、交通系 IC なしで乗り物に乗ることができるのでしょうか。

切符を買った経験があるのでしょうか。

バスの整理券を知らない子も多いはずです。いや、バスの整理券のことは保護者の皆さんも知らないかもしれませんね。

もしも交通系 IC を忘れたら、今の子供たちはどうなってしまうのでしょうか。

機会があれば、電車を使って移動する際に、ためしに切符を買わせてみるのはいかがでしょうか。是非、時間に少々余裕のある夏休みに経験するのはいかがでしょうか。当然、時間がかかると思うので、時間には余裕をもって、お出かけください。